



佐川急便株式会社
SGH グローバル・ジャパン株式会社

2025年4月21日

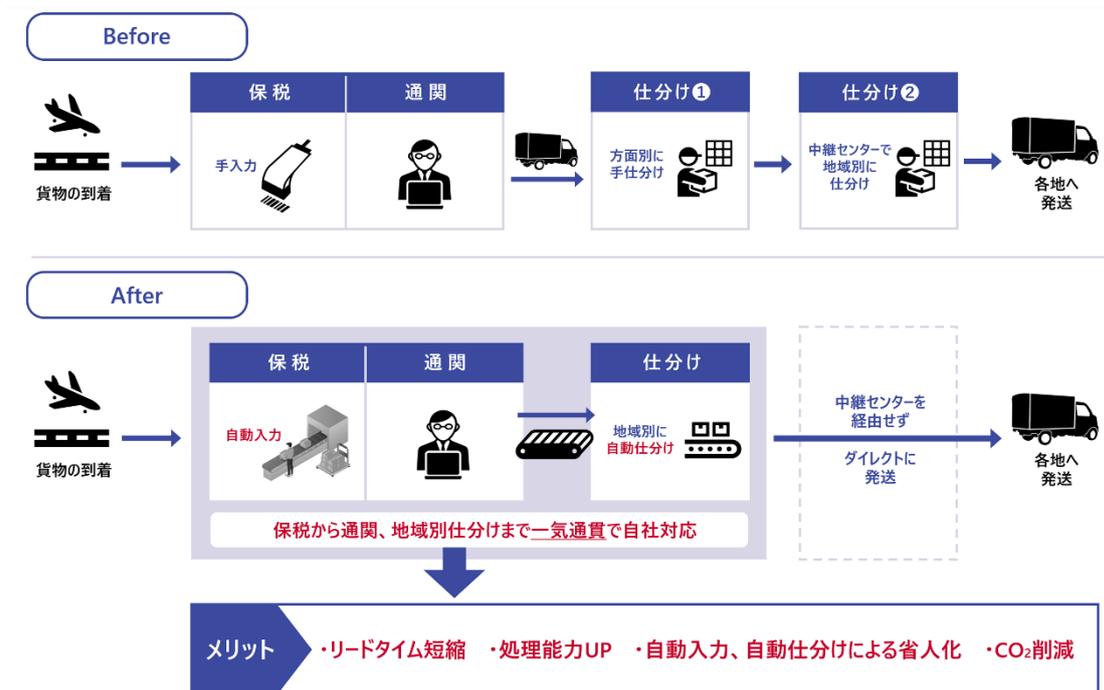
関西国際空港に国際貨物専用のセンターを新設 グループの強みを生かし保税から仕分け・発送までをシームレスに

SGホールディングスグループの佐川急便株式会社(本社:京都市南区、代表取締役社長:笹森公彰、以下「佐川急便」)は、関西国際空港の倉庫エリアに新たにSAGAWAグローバルECセンター関西を設置しました。

本センターは、佐川急便りんくう営業所が管轄するセンターの機能と、SGH グローバル・ジャパン株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役社長:三古健二、以下「SGH グローバル・ジャパン」)の保税蔵置機能を併せ持ち、海外と日本を繋ぐゲートウェイのひとつとして2025年4月11日より稼働を開始しました。

《SAGAWA グローバル EC センター関西の特長》

SGH グローバル・ジャパンが管轄する保税蔵置場と佐川急便が管轄する国内仕分けエリアがベルトコンベアで繋がった構造をグループで初めて採用しました。これにより、保税から仕分け・発送までのプロセスがシームレスかつ効率的に行えるようになりました。



《佐川急便としての効果》

本センターの設置と自動化設備の導入により、従来2度行っていた仕分け作業が1度で完了するスキームが完成しました。さらに、仕分け効率と従業員の作業効率が共に向上、リードタイムの短縮も可能となります。

今後は、取り扱い個数の増加を見据え、車両の積載効率向上や車両台数の適正化によるCO₂排出量削減、集荷締切時間の延長による出荷人様の利便性向上や、24時間体制の構築も視野に検討を進めていく予定です。

《SGH グローバル・ジャパンとしての効果》

国際貨物事業、物流倉庫事業を担う SGH グローバル・ジャパンは、本センターを活用することで、海外のEC事業者に対し、通関許可から国内発送までを当該センター内にある保税蔵置場の自動通関許可判別仕分機と国内仕分けエリアの自動仕分機とシームレスに連結することで、最短のリードタイムを提供することができます。

今後も成長著しい越境EC市場に対し、顧客の要望に寄り添った投資を行っていく予定です。



センター内部全景

名称	SAGAWAグローバルECセンター関西
所在地	大阪府泉南市泉州空港南1番地
延べ床面積	全体9,477㎡ (2,867坪) 内、佐川急便6,631㎡ (2,006坪)、SGHグローバル・ジャパン2,846㎡ (861坪)
処理能力	1万個/時間
稼働時期	2025年4月

佐川急便と SGH グローバル・ジャパンは、総合物流企業グループである強みを生かし、これからもお客さまのニーズと社会貢献に寄与するサービスの開発、提供に取り組んでまいります。

SGホールディングスグループは、純粋持株会社 SGホールディングス株式会社と、その傘下にある佐川急便株式会社をはじめとした事業会社で構成された総合物流企業グループです。